

第188回 関西広域連合委員会

日時：令和8年5月28日（木）

場所：北ビワコホテルグラツィエ 2階 アレーナ

開会 11時10分

○三日月広域連合長 それでは、第188回の関西広域連合委員会を開催させていただきます。

本日は、ようこそ滋賀県長浜市にお越しくださいました。皆様方のご来訪を心より歓迎申し上げます。

この当地、長浜市は、今NHK大河ドラマ「豊臣兄弟！」で大変注目されておりまして、多くのお客様にお越しいただいているところでございます。このままずっと近江が話題になるような場面が続けばいいなと。北へ行きますと小谷城とか、賤ヶ岳とか姉川の合戦地とか、南に行きますと石田三成ゆかりの佐和山城とか、また国宝で、今、世界遺産を目指しております彦根城とかがございます。今日は、お城のパンフレットも展示ブースで配っておりますが、中世以降、約1,300のお城跡が滋賀県にあり、「近江を制する者は天下を制す」と古来言われていたということでございます。

琵琶湖を少し出ていただきますと、葛籠尾崎湖底遺跡というのがございまして、縄文時代の土器がそのままきれいな状態で湖底に沈んでおりまして、今、その調査活動を始めたところでございます。何故沈んだのか。恐らくいろいろな人が湖上輸送で運んでいて、落とした、沈んだということじゃないかと言われていますが、ある人は、湖底に王国があったのではとか、諸説あるようでございまして、そういったことについて現在、県を挙げて調査もさせていただいているところです。

今、この長浜市、米原市、そして対岸の高島市、この3市が人口減少課題先進地域だということで、県として北部振興、この北部3市の振興をしようという重点プログラムを3年前からやっております。今日、後ほど近畿ブロックの知事会議でご視察

いただく場所などにつきましても、ぜひ皆様方にご調査いただければと存じます。

お手元に牛乳を配らせていただきました。ぜひ会議の途中でお飲みいただければと思います。このデザイン、非常にかわいいパッケージになっておりまして、北部振興の一環で「高校生サミット」というのを開催し、私も毎回ほぼフルタイムで参加いたしまして、その中で出てきた高校生のアイデアを生乳業者さんが聞き入れて、パッケージをリニューアルして、学校給食等で提供していただいているということでございます。高校生の意見が取り入れられる地域になることは、高校生の将来と一緒に休んでいける地域になるのではないかと、こういう一環でございます。牛乳の苦手な方は、随行の方に渡していただければと思います。

それでは、限られた時間でございますが、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

まず一つ目は、「ワールドマスタースゲームズ2027関西の準備状況について」を議題といたしまして、こちらは組織委員会事務局から説明をさせていただきます。

○ワールドマスタースゲームズ2021関西組織委員会事務局 組織委員会事務局でございます。

初めに、この3月2日のエントリー開始に合わせて作成し、放映いたしましたテレビCMをご覧いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(動画 放映)

○ワールドマスタースゲームズ2021関西組織委員会事務局 ありがとうございます。
これ以外にもバリエーションをつくり、また新聞紙上等でも複数の広告を掲載したところでございます。

そのワールドマスタースゲームズ2027関西でございます。来年5月14日の開幕まであと351日という状況になってまいりました。先日の5月14日の1年前には、各地で様々なキャンペーンも展開していただいたところでございます。

お手元の資料1に基づきまして、現在の準備状況を報告いたします。

おかげをもちまして、3月2日の一般エントリー以降、順調なエントリーの伸びを見ております。5月22日現在で約3万5,900人の登録をいただいております。目標が5万人と設定しておりますので、この数字では70%超の登録という状況になっております。

競技別の内容、また国・地域別の内容は記載のとおりでございます。水泳、陸上のトラック&フィールド等々が人気競技でございますし、地域につきましても、台湾、香港等アジアを中心に、またマスターズの盛んなオーストラリア、カナダ等からのエントリーが多くなっております。

こういった状況ではございますが、実は、人気種目につきましては、非常に多くの方に希望していただいております。なかなか十分な定員設定ができていないということもございまして、多くの方が参加いただけない状況になってしまっているという課題が、今出てきております。

事務局といたしましても、各実行委員会の皆様と協力いたしまして、定員枠の再設定ですとか、見直しですとか、会場につきましても、第2会場を探すとか、調整するといった取組を進めまして、一人でも多くの方のご希望に添えるような形で、大会そのものの立て直しを図ってまいりたいと思います。

また一方で、2ページにも書いておりますけれども、まだ1年近くあるとはいえ、まだエントリーの状況が低調という状況の競技もございます。こういったところにつきましても、これから各競技団体等を通じた実効性のあるPRなどに力を注いでまいりたいと思っておりますので、ご協力をぜひよろしくお願いいたします。

2ページの中ほど、さらなる参加促進対策といたしまして、3月2日は、先ほどご覧いただきましたテレビCMや新聞広告等でアピールしたところでございますが、あわせまして、1年前となる5月14日から今日まで、Facebook等のSNSを中心に大会PR動画を放映しております。

内容としましては、吉本興業株式会社様にご協力をいただきまして、大会応援芸人
であります、例えば浅越ゴエさんでありますとか、ジョックロックさんなどの芸人さ
ん、あるいはオリンピックの中西悠子さんや、NMB 48の女性アイドルの人たちにも
ご出演をいただきまして、今SNSの世界では広く展開を進めているところでござ
います。このことによりまして、さらなる参加呼びかけを行いたいと思います。

また、3ページにございますが、海外、国内、それぞれ具体的な展開をしているほ
か、協賛企業の皆さんにも団体エントリー、例えば社内の交流行事に役立てていただ
くというようなことも含めまして、ご案内をしているところでございます。各実行委
員会の府県、政令市の職員の皆さんにも、ぜひぜひこういう形でご参加いただけるよ
うなことをご検討いただければ、大変ありがたく存じます。

3番目には、ボランティアの募集でございます。スポーツを通じてボランティア活
動も広く定着させていくというのが狙いの一つでもございます。延べ2万7,000人程
度の参加目標を掲げまして、各実行委員会さんで順次募集活動を展開していただい
ています。大体、年内いっぱい辺り募集を継続しまして、来年5月の本番に備えていく
ということを現在考えているところでございます。

報告は以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○三日月広域連合長　　今報告のあったとおりでございまして、いよいよ開幕まで1
年を切り、エントリーの状況は、おかげさまで多くの方にエントリーをいただいでい
るということでございますが、競技によって定員を超えてきた競技種目があったり、
定員にまだ余裕のある競技種目があったりするので、個別、かついろいろな柔軟な対
応もこれからしていかなければいけないということと、さらなる機運の醸成、おもて
なし、ボランティアの募集をさせていただくということになります。

何か、皆様方のほうでご意見、ご質問はございますでしょうか。この競技に出ます
という決意表明でも結構でございますが、よろしゅうございますか。

齋藤委員、どうぞ。

○齋藤委員 ありがとうございます。まず、三日月広域連合長におかれましては、この滋賀の地での開催にご尽力をいただいたことに、改めて御礼申し上げたいと思います。

ワールドマスタースゲームズの状況について、ご報告ありがとうございます。やはりエントリーに応じた柔軟な定員の調整であったり、そういったところをしっかりとやっていくということが大事だと思います。兵庫県においてもテニスや競泳等、人気競技がありますので、そういったところを中心にしっかり対応をしていきたいと思います。

それから、まだまだ地元等において、ワールドマスタースゲームズそのものをご存じでない方もまだおられますので、機運醸成が大事だと思います。兵庫県においても5月17日の神戸まつりにおきまして、ワールドマスタースゲームズのPRをパレードでさせていただきまして、私も参加させていただきましたが、それによってワールドマスタースゲームズそのものの存在を知っていただいたという方もおられましたし、沿道では多数の方に温かい声援をいただいたということで、このような反応をいただいたことに感謝しつつ、ワールドマスタースゲームズの機運醸成をしっかりとやっていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

○三日月広域連合長 ありがとうございます。

西脇副広域連合長、どうぞ。

○西脇副広域連合長 今、齋藤委員からもご発言がありましたが、せっかくの機会ですので、できるだけ多くの方に参加していただけるよう、ぜひ柔軟な対応をお願いしたいと思います。電子申請が基本とすることには賛成ですが、一部には紙での申請を希望する声も出てきております。特に国内からの参加者については、何らかの工夫が可能ではないかと考えておりますので、ご検討のほどよろしくお願いいたします。

また、この度は長浜にお招きいただき、ありがとうございました。ここは地区計画

において、デザインや意匠の要素を取り入れ、黒壁を活かしたまちづくりが進められてきた地域であり、私にとっても思い出の地でございます。どうもありがとうございました。よろしくお願いします。

○三日月広域連合長 ありがとうございます。ほかに何かございますか。

滋賀県でも、この長浜の南側の米原でホッケー競技、さらに南の大津ではカヌーやローイングということで、欧米系の方もたくさん参加される種目ですので、おもてなしですとか、レセプションですとか、そういったことも併せて企画していかないといけないと思っていますし、10キロロードレースは彦根で開催されるんですけど、既に定員を大きく超えてきているようですので、柔軟でかつ枠を増やした対応を今、検討しているところでございます。

万博のレガシーを生涯スポーツの祭典で生かし、かつスポーツ競技だけではなくて、観光周遊などで各地域に波及効果をもたらすことができるようにしていきたいと思いますので、よろしくお力添えをお願いいたします。

○西脇副広域連合長 広域連合長、一言だけよろしいでしょうか。今、周遊観光のご発言がありましたが、現在、観光担当として、各開催地から観光コンテンツの収集を行っています。モデルルートの作成等に加え、例えば開催地における施設の割引情報やイベント情報についても集めておりますので、構成府県市の皆様には、ぜひご協力をよろしくお願いしたいと思います。

以上です。

○三日月広域連合長 よろしくをお願いいたします。競技そのものに加え、観光周遊が非常に楽しみであり、目的でもありますので、ぜひこの点、それぞれの府県市のご協力で、コンテンツを集め、周遊ルートの作成等にも取り組んでいきたいと思います。

ほかにないようでしたら、この件は以上とさせていただきます。一緒に盛り上げてまいりましょう。

続きまして二つ目、「関西広域連合管内のドクターヘリの運航」につきまして、こ

ちらは広域医療を担当いただいております徳島県からご説明をお願いいたします。

○広域医療局　　広域医療局でございます。資料２に基づきまして、関西広域連合管内のドクターヘリの運航について、ご説明をさせていただきたいと思っております。

まず、１の「ドクターヘリの現状等について」でございますが、令和８年４月以降、運航停止となっております大阪・徳島２機のうち、徳島県ドクターヘリにつきまして、今般、静岡エアコミュタ株式会社と調整が付きまして、６月８日から、おおむね７月末にかけてのスポットではございますが、運航確保ができる運びとなっております。

一方で、学校法人ヒラタ学園への運航委託でございます兵庫県ドクターヘリ、３府県ドクターヘリにつきまして、ヒラタ学園の整備士不足によりまして、継続的な運航体制の確保ができず、６月において２週間程度の運航停止期間が生じるという報告がなされております。また加えて、同法人からは整備士不足によりまして、７月から９月まで２機とも全日運航停止が避けられないという報告もなされているところでございます。

こうした現状を踏まえまして、２の「今後の対応について」でございますが、引き続き、国と連携いたしまして、構成府県の皆様のご協力もいただきながら、全国の航空運送事業者とドクターヘリの運航について調整・交渉を図ってまいりたいと考えてございます。

加えて、運航停止期間が生じます兵庫県ドクターヘリ、３府県ドクターヘリのエリアにつきましては、非常にドクターヘリの必要性が高い地域と認識しておりますので、関係府県の皆様にもご協力、連携を賜りまして、カバー体制等につきまして調整を進めてまいりたいと考えてございます。

最後に、３の「国への緊急要請について」でございます。現在、ドクターヘリの運航停止地域が生じていること、また令和８年３月末に厚労省からドクターヘリの運航ルールに基づきます「ドクターヘリ運航事業者の確保等について」といった事務連絡

が発出されたことを踏まえまして、昨日、三日月広域連合長、後藤田広域医療担当委員、守本兵庫県副知事、ほかによりまして、上野厚生労働大臣へ「ドクターヘリによる救急医療提供体制の確保に関する緊急要請」を実施していただいたところでございます。引き続き、課題解決に向けて全力で取り組んでまいりたいと考えております。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○三日月広域連合長 ありがとうございます。徳島県さんを中心に、この非常に難しい問題、大事な問題にご対応いただいてまいりましたけれども、非常によくない状況というか、運航停止になる状況が増えてきている状況もございます。このことを国にも緊急提案、要望ということで届けているところでございますが、なお残る課題につきまして、今鋭意ご対応いただいているところです。

何かご意見、ご質問はございますでしょうか。

齋藤委員、どうぞ。

○齋藤委員 ありがとうございます。この間、広域医療局の徳島県さん、そして昨日は、三日月広域連合長、そして後藤田広域医療担当委員をはじめ関係者の皆様が、上野厚生労働大臣への緊急要望をしていただいたということ、改めて感謝申し上げます。

また、先ほど説明ありましたとおり、ドクターヘリの運航状況が不安定な状況が続いており、兵庫県内においても3府県ドクターヘリと兵庫県ドクターヘリの2機について、一部運航停止が生じるとともに、7月以降については全日の運航停止が避けられないという状況になっています。

整備士不足などが原因だということですが、これは全国的な整備士不足の状況が大きく反映しているというところですので、国において、関係府省を中心として、安定的な運航体制を継続するための対策を講じるとともに、必要な予算を確保することが大事だと思いますので、国全体の問題として、広域連合長を中心に要望していただいたということは、大変大事なことだと思っております。

引き続き、運航停止期間中は、消防防災のへりを中心にカバー体制をお願いすることになりますので、広域医療局には、また引き続き中心にご調整をお願いすることになると思いますけれども、皆様のご理解、そしてご協力をお願いしたいと思っております。

なお、兵庫県としても、自分たちでもしっかり対応をしていくということが大事だと思いますので、6月1日を予定しておりますけれども、緊急の連絡会議を開催したいと考えております。兵庫県内の関係部署、それから医療機関、地元の市なども参加いただいて、また京都府や鳥取県の皆様にも参加いただき、今後の消防防災のへりやドクターカーの充実といったバックアップ体制、カバー体制を、この7、8、9の3か月間を中心にどのようにしていくかということをしっかき考えていきながら、中長期的な整備士不足など、事業者との連携をきちっとやっていく体制をつくっていきたいと思っております。引き続き、またそういった観点からも含めまして、情報共有や連携をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

○三日月広域連合長 ありがとうございます。ほかに何か。

どうぞ、上田副委員。

○上田副委員（徳島県） 徳島県でございます。まず、今回滋賀県開催ということで、広域連合長、滋賀県庁、そして地元長浜市の皆様をはじめ、ご準備等にご尽力をいただきましてありがとうございます。私も滋賀県庁に2年ほどいたことがございますので、非常にうれしく思いますとともに、この牛乳も先ほどおいしく飲ませていただきました。

そして今、齋藤委員からも情報共有をいただきましてありがとうございます。6月以降、兵庫県ドクターヘリ、そして3府県ドクターヘリの運航が極めて厳しい状況にあると認識してございます。先週金曜日、22日には、早速関係府県のドクターヘリ担当者を集めたオンライン会議を開催してございまして、情報共有を改めて図ったところでございます。

徳島県といたしましても広域医療局として、基地病院や関係府県をしっかりとサポートしてまいります。

また、齋藤委員から6月1日に緊急の連絡会議というお話もございました。引き続き、私ども関係府県と緊密に連携をしながら、兵庫県ドクターヘリ、そして3府県ドクターヘリの運航停止期間中のカバー体制等につきまして、広く時間軸も踏まえて調整を行ってまいりたいと考えてございます。

また、航空運送事業者と交渉を行う中で、兵庫県ドクターヘリ、3府県ドクターヘリの運航に有益な情報がございましたら、随時情報提供をさせていただきたいと考えてございます。

また、先ほどもお話ございました上野厚生労働大臣への要請でございますけれども、大変お忙しい中、ありがとうございました。兵庫県、大阪府からもご同行いただきまして、改めてお礼申し上げます。

上野厚生労働大臣からは、ドクターヘリは非常に重要であると、危機的状況の中、制度の見直しも必要だと、また、予算面も含めてしっかりと対応をしたいといったご発言をいただいたと報告を受けてございます。引き続き皆様と連携を密にしまして、救急医療提供体制の確保に取り組んでまいりたいと考えてございます。

また、齋藤委員からもご指摘ございました中長期的な整備士不足への対策につきましては、徳島県といたしましても非常に重要な点であると考えてございます。常々、国土交通省等への要望も行っておりますけれども、広域連合といたしましても、今回の5月提案におきまして、厚生労働省、国土交通省等へしっかりと対応を求めてまいりたいと考えてございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

○三日月広域連合長 ありがとうございます。

ほかに何かございますでしょうか。よろしゅうございますか。

引き続き、業者等との契約協議を鋭意進めていくということと併せて、カバー体制、これはそれぞれ今運航している、また広域で、隣接府県で運航されているヘリをあて

がうことによってカバー体制を取っていくということと、消防防災のヘリやドクターカーなどで緊急搬送をしっかりと漏れなく行っていくということと併せて、国によるルールや基準の検討・調整についても求めているということでもありますとか、追加経費がかかっていますので、国も当初もしくは補正で十分な予算措置をしていただいているようございまして、そういったものをあてがえるように対応していくということとしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

この議題は以上とさせていただきます。

続きまして、資料の3、「新たな広域自治・行政のあり方研究会 第3回会議の開催結果」をご覧ください。

広域連合として15年経って、これまでどう歩んできたのかということを確認すると同時に、これからどうしていくのかということについて、今検討を進めているところで、第3回まで参りました。

前回、4月の会議では、この資料に記載のとおり、今後の関西広域連合の組織・体制、財源確保策等について議論をいただきました。その前の第1回、第2回の中でも、西脇副広域連合長や久元副広域連合長にも、毎回ご参加いただいて、また事務局の皆さんにもご視聴いただいて議論を進めてきておりますが、もう一つの極としての関西をどうしていくのかということ、とりわけここでは、首都機能、特に災害に備えたバックアップ機能、東京一極集中是正の突破口として、機能を拡充していくべきではないかというご指摘、この点は、これから副首都構想などとも大きく関わってくる議論になろうかと思しますので、今後、第4回、第5回の議論でもさらに肉づけをしていく必要があると思っておりますし、関西広域連合が担うべき役割、取り組むべき分野事務ということにつきましては、特に丸ごと移管をこの間求めてきたけれども、そろそろ、こういう全面展開で丸ごと移管ということについては見直すべきではないかと、こういった趣旨のご議論が強く打ち出されてきている。一方で、例えば、水源涵養、森林から水資源の管理、こういったことについては、今後、関西広域連合の新たな役

割としてももう少し強化・充実させるべきではないかという視点、あと、広域観光、広域医療、こういったところにつきましてもスケールメリットを生かしていく観点から、さらに充実させていってはどうかと、こういうお話もあったところでございますので、次回の第4回以降、今後の取りまとめに向けてどのような論点で議論をしていくのかということについて、広域連合長としての試案も一定出させていただいて、議論を進めていきたい、深めていきたいと思っておりますので、お忙しいと思いますが、それぞれ知事、市長、副知事、副市長、関係職員の皆さんの議論への参画を要請したいと思います。

この点、何かご意見、ご質問はございますでしょうか。よろしゅうございますか。

それでは、ご確認いただいたということといたしまして、最後、「令和8年7月関西広域連合議会臨時会の開催」につきまして、本部事務局からご説明をお願いいたします。

○本部事務局 本部事務局でございます。資料4を御覧いただきますようお願いいたします。

令和8年7月関西広域連合議会臨時会を7月11日土曜日、午後1時から、中之島センタービル内のNCB会館で開催させていただきたいと思っております。

主な内容は、議長及び副議長の選挙、それから議案とさせていただいております監査委員の選任同意、それから一般質問を予定しております。委員各位のご出席をどうぞよろしくお願いいたします。

以上でございます。

○三日月広域連合長 よろしくご確認をいただければと思います。

予定した議題は以上でございます。

最後に、3点資料配付がございますのは、ぜひお手持ちのパソコン等でご確認ください。令和7年度施策運営目標に係る行政評価等の資料をつけさせていただいております。

予定した議題等は以上でございますが、この際、何かご発言等がございますでしょうか。よろしゅうございますか。

ないようでしたら、第188回関西広域連合委員会を終了させていただきます。ありがとうございました。

○本部事務局　それでは引き続きまして、ただいまより記者会見を始めます。

ご質問のある方は挙手をお願いいたします。指名されましたら、社名、お名前、そしてどなたに対するご質問かを告げてからご質問をお願いします。よろしくお願いします。

○共同通信社　共同通信の栗原と申します。

広域連合長にお伺いしますが、先ほど副首都構想に関して試案を考えたいという旨の発言がありましたが、今の段階でお話しいただけることがあればお願いします。

○三日月広域連合長　私の言い方がまずかったかもしれません。新たな広域自治・行政のあり方研究会を進めておりまして、その今後の進め方、着地点等について、これまでの議論を基に広域連合長としての試案を出したいということで申し上げました。

当然、今国でご検討いただいております副首都に関する事なども横目に見ながら議論を進める必要があると思いますので、この点は考慮してつくることになると思います。

○共同通信社　ありがとうございます。あともう一点ですが、ドクターヘリの状況ですけれども、現在、兵庫県のドクターヘリは2機停止ということですが、これは全部で2機のうちの2機が停止ということになりそうでしょうか。お願いします。

○三日月広域連合長　広域医療局でお答えいただけますか。

○広域医療局　広域医療局でございます。

兵庫県さんにおかれましては、2機運航されておりますので、兵庫県さんの保有されている基地病院、ドクターヘリということ言えば、2機が停止するという理解をいただけて結構かと思います。

○三日月広域連合長　　よろしいですか。ほかにございますか。よろしゅうございますか。

　　以上で終わります。ありがとうございました。

○本部事務局　　それでは、これで記者会見を終了いたします。

閉会 1 1 時 3 9 分